

Scale your Expertise for the Future

会計・税務の専門性が、
日本の企業の未来を支える



採用に関するお問い合わせ

株式会社日本M&Aセンター

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-8-2

鉄鋼ビルディング24階

採用担当: career_mypage@nihon-ma.co.jp



あなたの専門性を

企業の存続と発展に活かしませんか

日本M&Aセンター

私たちのパーパス

最高のM&Aを より身近に。

私たちは、想いをつなぎ、安心してM&Aに
取り組める社会をつくれます。
日本、そして世界で。

後継者不在により廃業の危機に直面している企業と、成長戦略を模索している企業。
その両者をM&Aでつなぎ、企業の存続と発展に貢献することが私たちの使命です。
老舗のブランドや固有の技術を守り、成長を支援し、地方を、そして日本を創生する。
公認会計士・税理士として培った専門性を、
企業の未来を創る仕事に活かせる環境がここにあります。
経営者と直接向き合い、『あなたがいてくれてよかった』と感謝される。
それが日本M&Aセンターのコーポレートアドバイザーです。
これまで磨いてきた会計・税務のスキルを、誰のために、何のために活かすのか。
企業の存続と発展のため、そこで働く経営者、従業員のために、
あなたの専門性を発揮してみませんか。



日本M&Aセンターは2026年に
創業35周年を迎えました。

01

公認会計士・税理士が抱える キャリアの悩み

多くの公認会計士・税理士が、キャリアの転換期に直面しています。

監査業務や税務コンプライアンス業務のルーティン化、AIの急速な進化など社会構造の大きな変化に伴う「専門性の再定義」、そして、より大きな「社会貢献への渴望」。

これらは、決してあなただけの悩みではありません。監査法人、税理士法人や会計事務所での経験を積んだ後、「次のステップ」を模索する専門家は少なくありません。

財務・税務の実務経験を基盤に、企業の経営判断に直接関わり、より大きなインパクトを生み出したい。そう考える方々にとって、業界最大手のM&A仲介会社におけるコーポレートアドバイザー業務は理想的なキャリアパスの一つです。

日本M&Aセンターは、公認会計士・税理士として培ってきた専門知識を最大限に活かし、企業の「存続と発展」という社会的使命に貢献できる環境を提供します。

02

日本M&Aセンターが公認会計士・ 税理士に選ばれる理由

日本M&Aセンターは「M&A業務を通じて企業の存続と発展に貢献する」という企業理念のもと、1991年の創業以来、累計11,000件を超えるM&A支援を行ってきました。

1,100超の会計事務所、地方銀行の9割超・信用金庫の8割超と提携により、国内最大級のM&A情報ネットワークを構築しています。この圧倒的な基盤こそが、公認会計士・税理士の専門性を、単なる「知識」ではなく経営を動かす実践的な価値へと昇華させます。



5年連続ギネス世界記録®認定
M&A成約実績 世界No.1
2024年 M&Aフィナンシャルアドバイザー業務の最多取り扱い企業

03 コーポレートアドバイザー（CA）の役割

会計・税務の専門家から“M&Aの専門家”へ

公認会計士・税理士で構成される日本M&Aセンターのコーポレートアドバイザー（CA）は会計・税務にとどまらず、M&A成約に必要なあらゆるナレッジを体系的に活用し、M&Aコンサルタントとともに二人三脚でディールを前進させる専門職です。

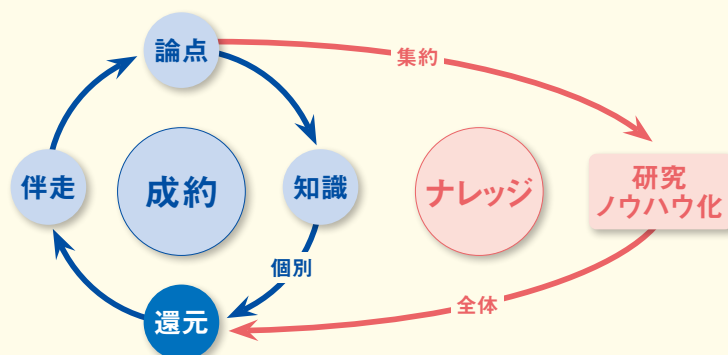
公認会計士・税理士として培ってきた高い専門性を基盤に会計・税務のみならず法務的論点やスキーム設計、企業評価など、M&A特有の複雑な論点に深く関与し、企業のM&Aを支援します。

経営の現場の最前線で、専門性が“意思決定”を動かす

CAは、経営の現場の最前線で、会計・税務の専門性を企業の存続と発展に直接結びつける仕事です。日本M&Aセンターでは、経営者の人生、歴史、企業経営に最高の敬意を払い、プロフェッショナル・パートナーとして使命感を持って、業務を遂行します。

コーポレートアドバイザー部を擁する「バリュー推進本部」の役割とは？

バリュー推進本部という名称には「品質こそが日本M&Aセンターの企業の根幹となるバリュー（価値）である」という想いが込められています。



CAは、M&Aコンサルタントに伴走する形で、専門家の知見と共に受託前折衝から成約まで一気通貫のプロフェッショナル支援を行います。このような支援を通じて蓄積される知見を体系化し現場に還元するとともに、社内外への教育・研修に活かしています。日本M&Aセンターは業界最大手で、CAによる支援体制が他社に比べてしっかり整っているため、CAのフィールドは、現場におけるM&A成約の支援を主戦場としつつも、ここから得られる知見を集約し業界全体に還元するところまで広がっています。

04 専門性を価値に変える3つの領域

日本M&AセンターのCAの業務は、公認会計士・税理士の専門知識を最大限に活かせる3つの領域で構成されています。業界最大手だからこそ、M&A支援にとどまらない活躍のフィールドがあります。

プロフェッショナル支援

M&Aコンサルタントが実施する企業価値試算と企業概要書のレビューにより品質担保を行う業務を起点として、M&Aディールで生じる様々な会計上、税務上の論点を解決していきます。規模の大きな案件や複雑な論点のある案件に関しては、M&Aコンサルタントと共に対象会社の調査を進めていき、案件進行の筋道をつけることが重要な役割として期待されます。

M&Aディールにおける論点としては、株式譲渡・事業譲渡・会社分割など、M&Aを実施するための最適取引手法（スキーム）の選択に関するものがあり、当該スキーム構築は、会計・税務の専門性が求められることからCAが主導して行うケースが多いです。

日本M&Aセンターなら、海外案件への関与も可能

企業に対する事業承継・成長戦略M&A支援の他、近年ではグループのASEAN5拠点（シンガポール、マレーシア、ベトナム、タイ、インドネシア）のクロスボーダー案件への関与など、プロフェッショナル支援業務のフィールドはより一層広がっています。

ナレッジマネジメント

M&A関連ノウハウの創出、整理、蓄積、共有を担い、組織全体の知的資産としてのナレッジを体系化。生産性向上に直結するツール開発等を進めています。

具体的には、繰り返しM&Aコンサルタントから問い合わせのある事項に係るFAQデータベースの構築、M&Aの多い業界・業種のノウハウの取り纏め、顧客の手取額試算ツールの開発などを行っています。当社の圧倒的な案件数から得られるナレッジを会社の財産に昇華する重要な取り組みです。

教育・研修

M&Aの会計・税務の専門家として、社内のM&Aコンサルタントや提携先会計事務所、金融機関に対する教育研修も実施。また、神戸大学、早稲田大学などの有名大学・大学院等での講師業務や書籍等の執筆など、個人のプレゼンスも向上するような発信機会を提供しています。

05 仕事のやりがいと 市場価値の広がり

専門性を進化させ、市場価値を高められる環境

■ 監査・税務の経験を土台に新たなスキルを獲得

監査経験・税務知識を活かしながら、スキーム設計、企業評価（バリュエーション）、交渉支援など、新たな専門領域へとスキルを拡張できます。また、短期～中期のプロジェクトが多いことから成長スピードの速さも特徴です。

■ M&A未経験でも専門性をそのまま活かし即戦力として活躍

M&Aアドバイザー業務のうち、企業評価（バリュエーション）や対象企業の調査は、公認会計士・税理士の基礎的なスキルと親和性が高い要素で構成されています。当社では、過去の膨大な成約実績に基づく経験則をナレッジとして体系化・ツール化しているため、M&A実務未経験者でもこれらの知見を活用することで、専門家として培ってきたスキルを実務の中で即座に活用していただくことが可能です。

■ M&Aの経験は汎用性が高く、常にキャリアアップを実感できる環境

M&A実務で培われるスキルは汎用性が高く、業界・業種を問わず評価される専門性です。常に自身の成長と市場価値の向上を実感しながら、キャリアを主体的に描いていくことができます。

06 学習支援と教育体制

M&Aには幅広い専門知識が必要となります。日本M&Aセンターでは、CAとしてM&Aコンサルタントを支援し、M&Aを推進していくための知識を効率的に吸収出来るカリキュラムを整えています。

年次に応じた、外部の専門機関を活用した学習の機会や他社への出向を通じた専門スキルの向上機会も提供しています。

業界トップの案件数から得られるナレッジを蓄積・共有する過程そのものが、個々人の成長を加速させます。

具体的な学習・教育支援例

● 入社時研修：会社全体・部署合わせて1カ月程度

M&Aの全体像、CAとして求められる役割、基本的な実務知識を体系的に習得

● ナレッジ会議・社内学習

● 京都大学MBA企業価値評価とファイナンス

● 日経ビジネススクール講座

● 地域金融機関への短期出向（1カ月）

● 海外拠点視察

● Another Sky（成績優秀者を対象とした、世界の最先端M&Aシーンに触れる海外研修旅行）



2026年1月のAnother SkyはNewYorkを訪問

07 中長期的なキャリアパスの多様性

日本M&AセンターにおけるCAのキャリアは、汎用性が高く、多様なステップアップが可能です。M&A総合企業としてビジネスを展開しているからこそ、プライベートエクイティ（PE）ファンド、グループ会社の役員など、幅広いキャリアパスが開けます。

当社で実現できるCAの中長期的なキャリアパス

当社CAとしての経験を十分に積んだその先のキャリアパスとして、以下の選択肢を目指すことができます。

海外領域へ	海外案件を中心に取引する海外関連部門での活躍を目指すことができます。
IB領域へ	上場企業を中心に支援を行っているIB関連部門での活躍を目指すことができます。
ファンド領域	グループ内で数多くのファンドを立ち上げていることからファンド運営会社やその投資先での活躍を目指すことができます。
グループ会社役員	数多く存在するグループ会社の経営幹部としての活躍を目指すことができます。
大学講師	近年はM&Aに関する研究を大学と連携して行うなど、アカデミア分野での活動にも力を入れています。Ph.D（博士号）取得を目指す社員もあり、教育研究分野での活躍を目指すことができます。
PMIコンサルタント	M&Aを成功させるための必要条件にもなりつつあるPMI。企業の成長をよりキメ細かく支援するためにPMIコンサルタントを目指すことができます。
M&Aコンサルタント	フロントに近い立ち位置でM&Aコンサルタントをサポートする立場から、自らがフロントとして活躍するM&Aコンサルタントを目指すことができます。

08 求める人物像

パーパス、ビジョン、コアバリューに共感し、ともに価値を創る方

Purpose

最高のM&Aをより身近に。

Vision

地方創生から日本創生、そして世界No.1のM&A総合企業へ

Core Values

プロフェッショナルたれ

それは、成果ではなく、人生を預かる覚悟を持つことだ。

1. お客様に最高の敬意を 2. 振り子を振りきる 3. 正しいことを正しく

社会の一員として、人として、企業として、正しいことを正しく行う。

敬意、振り子、正しさ

その三位一体を貫く者こそ、真のプロフェッショナルである。

09 評価制度・働き方

日本M&Aセンターでは、充実した教育制度と公正な評価制度、そして柔軟な働き方を提供しています。入社後の全体研修から月次・年次研修まで、状況にあった研修プログラムが用意され、社外研修や各種資格の教育費補助も充実しています。

フレックスタイム制（コアタイム10:00～15:00）を導入し、標準労働時間7.5時間でワークライフバランスを重視した勤務が可能です。給与体系は月給に加えて賞与2回、決算賞与で構成され、成果をしっかり評価します。

完全週休2日制（年間休日123日）、有給休暇最大20日、産前産後育児休暇など、充実した休暇制度も整備されています。

10 待遇・福利厚生

給与体系

コーポレートアドバイザー職の
想定初年度年収は
700万円から1,200万円です。
給与は前職の給与水準、
職務経験等を考慮して決定され、
月給には20時間の時間外
手当が含まれています。

年収構成

年収は月給に加えて
賞与年2回、決算賞与で
構成され、給与改定は年1回
実施されます。

社会保険

社会保険は厚生年金、
健康保険（日本M&Aセンター
グループ健康保険組合）、
雇用保険、労災保険を
完備しています。

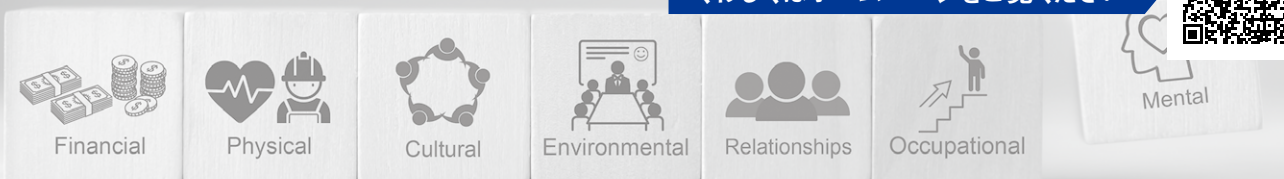
福利厚生制度

従業員持株会（奨励金あり）、
福利厚生サービス^{※1}、出産祝金（30
万円）、ベビーシッター半額補助、
会計士・税理士の年会費会社負
担、健康保険組合独自サービス^{※2}
などを提供しています。

※1 バースデーギフト、MA6（部活動）、総合福利厚生サービス、福利厚生施設、慶弔見舞金制度、
借上社宅・転居費用補助制度、各種休暇制度

※2 健康診断補助、カフェテリアプラン、出産育児一時金付加金

くわしくはホームページをご覧ください



11 現場の声

高度専門業務と再現性の同時実現



公認会計士 北川 雅朗

監査法人にて監査業務に4年間、大手人材企業にて経理業務を中心とした本社機能業務に5年間従事しており、専門家・実務家両方の経験と視点が強み。2018年日本M&Aセンターへ入社し、大型クライアント、上場子会社切り離し、海外案件を多数支援。大阪府出身、中央大学卒。

当社は、年間約1,000件の成約を支援しており、成約企業は、売上5億未満の国内企業から、売上100億円を超える上場企業、ASEANを中心とした海外企業に至るまで多岐にわたっています。我々は、「振り子を振りきる」ことをコアバリューの一つと位置付け、事業承継案件から、証券会社のIB部門が扱うような上場企業を対象としたFA業務に至るまで、幅広い領域で高い成果を出すことを志向しています。また、案件で追及した高度な専門性を、誰でも分かりやすくレクチャーして全社に共有する、という「振り方」もあり、いかに振り子を大きく振るかを大切に日々仕事をしています。両極に振ることで驚くほど自分の殻を破ることができ毎年成長を実感できています。この環境は、豊富な顧客接点を有する当社ならではのと思っています。

専門性を磨きながら、キャリアの可能性を広げる



公認会計士 宮崎 夕佳

監査法人トーマツ、コンサルティング会社における上場企業の監査、財務DD、日系企業の海外進出支援などの経験を経て、2019年日本M&Aセンターへ入社。M&Aスキーム提案、論点整理、中小企業再生支援、社内外の研修講師など幅広く活動。東京都出身、中央大学卒。

CA業務では、決算書を読み解くといったベーシックな会計リテラシーを実務の中で価値に転換しながら、高難易度の組織再編や、監査業務では得にくい税務の知見を広げることができました。また、現場との距離が近く、M&Aのプロセス全体に並走できるため、ダイナミズムを感じながら仕事に向き合える点も魅力で、日々やりがいを感じています。現在はグループ会社でマネジメントにも携わり、企業内専門家としてのキャリアの広がりを実感しています。社内で役割を広げながら、長期的に成長し続けられる環境があることは、当社ならではの大きな魅力だと感じています。